

第10期研究費部会の今後のスケジュールについて（案）

第10期研究費部会における検討課題のうち、「科研費を中心とした学術研究を支える研究費制度の総合的観点からの検討」については、第9期の審議のまとめにおいて、次のとおりとされている。

【第9期研究費部会における審議のまとめ（抜粋）】

2 今後の検討課題

(4) 科研費を中心とした学術研究を支える研究費制度の総合的観点からの検討

- 学術研究の更なる振興を図るためには、大学改革推進の方向性やその他の競争的資金の状況等を踏まえながら、科研費を中心とした学術研究を支える研究費の充実や制度全体の不断の見直しを図ることが重要である。
- その際、研究者に基盤的経費が適切に措置されることや、特に若手研究者について安定定かつ自律的なポストが確保され、自由に研究ができる環境が整備されることにより、科研費の効果がより一層高められることを強く認識する必要がある。
- そのため、学術研究を巡る環境が変化する中で、科研費が研究費全体の中で果たすべき役割やそれを踏まえた制度の改善点について、その他の審議会・部会等と連携しつつ、学術研究を支える研究費等の在り方に関連する幅広い議論を踏まえながら、総合的観点から検討していく必要がある。

上記の第9期の審議のまとめを踏まえ、本検討課題については、次のようなスケジュールで審議を進めることとする。

○令和元年7月31日（水）第4回

- ・部会の進め方や取り上げる事業、論点等について意見交換を行う。
- （取り上げる事業等の例）（各事業等の論点例：「別紙」参照）
 - ◇国立大学運営費交付金（学術機関課所管の事業を含む）
 - ◇戦略的創造研究推進事業（新技術シーズ創出）
 - ◇若手研究者育成関連事業

○令和元年10月頃 第5回

- ・部会の進め方や論点等について審議・決定

○令和元年11月～令和2年4月頃（4回程度開催）

- ・取り上げる事業の担当課からの説明や、関係する審議会・部会委員との意見交換を行う。

○令和2年5月～7月頃（3回程度開催）

- ・部会の提言（まとめ）の審議

（決定後、学術分科会、科学技術・学術審議会、その他関係審議会等に報告。）

○令和2年10月～令和3年1月頃（2回程度開催）

- ・第10期研究費部会における審議のまとめの審議

（本検討課題についての部会の提言（まとめ）を含め、第10期において審議した主な事項と次期研究費部会に申し送る検討課題を整理する。）

※上記の期間、新たな審査方式の検証や予算要求に関することなどについては、作業部会の検討等を経て、随時部会で審議を行う。

各事業等についての論点例

○国立大学運営費交付金

- ・国立大学運営費交付金の現状
- ・国立大学運営費交付金のデュアルサポートシステムにおける役割
- ・国立大学運営費交付金の立場から科研費に期待すること
- ・科研費の立場から国立大学運営費交付金に期待すること

○若手研究者育成関連事業

- ・若手研究者育成関連事業の現状
- ・若手研究者育成関連事業を効果的に実施するために科研費に期待すること
- ・科研費の効果をより一層高めるために若手研究者育成関連事業に期待すること

○戦略的創造研究推進事業（新技術シーズ創出）

- ・戦略的創造研究推進事業の現状
- ・科研費と戦略的創造研究推進事業の接続
- ・戦略的創造研究推進事業を効果的に実施するために科研費に期待すること
- ・科研費の効果をより一層高めるために戦略的創造研究推進事業に期待すること